

国境の無い音の世界へ

One World

- Return to the Earth -

Masako Cross Live

人と人、国と国、音楽と音楽、思想と思想、全てが融合した世界。

癒やしの森、新しい命、砂埃の戦場、絆、希望、祈り、情熱。

様々なジャンルのオリジナル曲を、繊細なワールドミュージックを奏でる

多国籍アーティストが情景をクリエイティブに表現。

新曲、Return to the Earth をテーマに、

宇宙から輪廻転生まで表現する One World 第二弾ライブ。

2019.9.28

S
a
t

Open 7:00pm Start 7:30pm

Music Charge : 予約 ¥3,500/ 当日 ¥3,800 会場 : 公園通りクラシックス

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町 19-5 東京山手教会 B1F. TEL : 03-6310-8871. 最寄り駅 : JR 渋谷駅 東京山手教会、地下駐車場入口の地下へのスロープを下り、奥のつきあたり、右側にある赤いドアが入口。



Masako Cross (Vocal, Yukin)

幼少期から曲を作り始め、フォーク、ロック、洋楽、邦楽、民謡など多ジャンルの音楽に親しみ10代の頃からジャズ、R&B、ブルース、ゴスペルに傾倒し、ベン佐藤氏のジャズバンドでライブ活動を開始。ブルーノート東京にてアーティストの通訳を経て、LAの音楽プロダクションにて、音楽制作やコーディネーションを行うと同時に、オリジナル曲の制作・レコーディングを始める。帰国後、ジャンルの壁のない音楽・世界を目指し、自然、平和への祈り、人々の絆、現代社会の映像情景を表現するオリジナル曲の活動他、ジャズライブ、映画音楽やCM音楽の制作活動を行う。近年は、日本の現代楽器、ゆう琴を演奏。毎年アメリカにて、世界的平和組織である、Women's League For Peace and Freedomの誘致で、広島・長崎追悼祈念イベントで自身のオリジナル曲を演奏・歌唱している。
<https://masakocross.com/>



Andy Bevan (Didgeridoo, Sax, Flute 他)

オーストラリア出身。幼少からピアノとフルートを学ぶ。自国での活動を経て東南アジアを長期旅行、インドネシア、タイ、ネパール、インドの様々な文化や伝統音楽を吸収する。その後、様々な吹奏楽器を修得、オーストラリア原住民音楽家との出会いからディジュリッドを吹き始め、ディジュリッドの新たな魅力と可能性を見いだす。現在、ジャズ、ブラジル音楽、フュージョン、ワールドミュージックなど多くのジャンルで活動中。



Jyoji Sawada (Contrabass)

ジャンルを限定しない表現で多くの分野の音楽制作に広く関わり、ブラジル音楽系の室内楽ユニットであるショーロクラブでの活動は30年にも及ぶ。映画音楽、現代音楽、古典邦楽、Jazz、ロック、ブラジル音楽、ポップスなど幅広い分野の音楽家とのコラボは多岐にわたり、これまで、EPO、おおたか静流、ジョイス、忌野清志郎他多くのアーティストの音楽制作、公演などを行っている。



Frederic Viennot (Piano)

フランス出身。リヨン国立高等音楽院ジャズピアノ科金メダル受賞。2004年より来日、ライブ、イベント出演、テレビコマーシャル録音、教育活動など、様々なフィールドで活動。これまでクレモンティーヌ、青木カレン他多くのアーティストと様々な演奏活動を行っている。2005年のNHK教育テレビ番組「フランス語会話」ではレギュラーおよび音楽コーナー担当で出演。翌年、番組内音楽も手掛ける。



Christopher Hardy (Percussion)

アメリカ出身。西洋打楽器の基礎を持ちつつ、中近東、北、西アフリカ、やラテンの代表的打楽器であるハンドドラムのスペシャリストとして高い評価を得ている。その活動は広く通用する語法を備え、独自の打の創造に満ちたアプローチを織り成している。これまで STING、渡辺香津美他多くのミュージシャンと共演。シルク・ドゥ・ゾレイユ「ZED」のミュージシャンとしてステージに参加。創作的なサウンドを展開している。